

人物紹介コーナー・散歩道『計良 千香子 緩和ケア認定看護師』

緩和ケアチームの中心として
総合的サポートを目指す



函館中央病院(函館市)
緩和ケア認定看護師
計良 千香子 さん

日本人の2人に1人はがん罹患する時代。がんの患者さんは、痛みや身体的な問題、心理的・社会的問題、スピリチュアルな問題といったさまざまな苦痛を抱えながら病気と対峙している。緩和ケア認定看護師とはそうした患者さんの苦痛を和らげるためのサポートが役割だ。

今年1月から「がん相談支援センター」の専従スタッフとして部署を

超えて活動。スタッフ教育等に取り組みながら、患者さんの症状コントロールや精神的なケア、家族ケア等に対応。亡くなった後も、エンゼルケア(死後の処置)、悲嘆ケア、遺族ケア等患者さん・家族との関わりは深い。同病院には、がん化学療法看護認定看護師もあり、連携する場面も多いという。

現在は、医師、看護師、管理栄養士、リハビリ、MSW、歯科衛生士等多職種による総合的サポートを目指し、緩和ケアチームの充実に向け取り組んでいる。道南地区で立ち上がった緩和ケアネットワークにも参画し、情報共有や学習活動にも意欲的だ。

看護学生の頃からがん看護に関心があつたという計良さん。「患者さんやご家族との関わりは、じっくりと腰をすえてお話をすることが基本。これまで学んできた専門性を患者さんとうご家族のために発揮していきたい」。